

日本臨床外科学会 国内外科研修報告

恵佑会札幌病院での国内外科研修を終えて

国家公務員共済組合連合会大手前病院消化器外科

知念 良直

この度、令和6年度日本臨床外科学会の国内外科研修プログラムにより2025年1月27日～2月7日までの2週間、恵佑会札幌病院で研修をさせていただく機会を頂戴いたしましたので、ご報告させていただきます。国内外科研修という貴重な経験をさせていただき、日本臨床外科学会会長の万代恭嗣先生、国内外科研修委員会委員長の高山忠利先生、大阪府支部長の弓場健義先生に深く御礼申し上げます。

私は大学卒業後大阪大学消化器外科医局に入局し、院生として基礎研究に従事した後に2024年4月から大手前病院に勤務いたしました。現在は下部グループに所属し、急性腹症や大腸癌を始めとした消化器外科全般の手術を行っています。外科の玉川部長から良い機会だからと日本臨床外科学会の国内外科研修プログラムを推奨していただきました。

研修先を決めるにあたって恵佑会札幌病院を選んだ理由としては、できるだけ手術文化の違うところを体験させていただいた方が面白いだろうという考えと、冬の北海道がどれほど大変なのかを体験したいということと、隙間時間に観光など楽しいところが良いなというやや軽薄な考えで選択させていただきました。

いざ札幌についてみると思ったよりは寒くなかったですが、例年稀に見る暖冬とのことでした。しかし、後になって寒波が来て期待した通りの過酷な寒さを体験することができました。地面が凍っておりとても滑るのは2週間を通してずっと大変だったところで、駅から病院に行くだけでも緊張を強いられました。

外科研修の話に移らせていただきますと、まず2021年に新設されたばかりという病院の綺麗さと広さに圧倒されました。OPE室もとても広く、大阪市内にある当院とは全く比べ物になりません。そして、手術数の多さにも驚きでした。北海道全土から集まってこられるそうで、癌の手術だけでも週に大腸が7件、胃が2件、そして食道が3件ほどありました（プラス良性疾患数件、もちろんあれば緊急手術も）。これでも季節的に少なめとのこと。主に久須美院長、佐々木先生、澄川先生の下部グループの手術に入らせていただきましたが、吉川先生の食道やサシーム先生のヘルニア&緊急（下部穿孔）、北上先生の胃切除など一通り見学させていただきました。サシーム先生にはとてもよく話しかけていただき、小粋なトークを楽しませていただきました。また、週2日ほど来られている医官の川越先生も出身地が近いという共通点もあり、様々な自衛隊話を聞かせていただきました。

医師の数も大学病院ほど潤沢ではない中でこれだけの手術数をどう回していくのかという点に注目しておりましたが、2週間の結論としては詰まるところ、先生方の手術の上手さ、そして合併症の少なさでした。ロボット手術がメインでしたが、皆様文字どおり手足のように使いこなされており、とても綺麗にそして早く手術が終了し、術後も速やかに快復される患者ばかりでした。先生方の技量の高さはもちろんですが、これからは若手もロボット手術の時代だと今更ながら確信いたしました。

術式に関しては、ポート配置などは大きな違いはありませんでしたが、体腔内吻合の際に当院においてはエントリーホールを縫合閉鎖しておりましたが、リンフォースを用いて指示糸代わりとし、釣り上げてステイプラーで閉鎖するという方式をとっておられました。手術時間の短縮につながる良い方法と感じました。当院では行ったことのないPfannenstiel 切開も見学することができ、右側で体腔内吻合を

選択する際に当院でも選択肢として取り入れようと考えました。また、ダビンチが2台あることを活かし、空いている時には2台併用でご指導されるなど、ロボット支援下手術をフル活用されていたのが印象的でした。私も少しですが触らせていただき、ロボット手術の難しさと快適さの両方を感じました。

またそれだけではなく、非常に印象深かったのは臨床工学技士（CE）の方々の協力が凄い、ということでした。カメラ持ちからロボットアームの交換などの業務を請け負っていただいているだけでなく、皆様とても気さくで手術室のスタッフの一員として欠かせない存在でした。当院ではCEの方とはあまり話す機会がありませんが、今後はもっとコミュニケーションを取って円滑に手術が進むように意見交換する場を開催するのも良いかもしれません。

佐々木先生、澄川先生には歓迎会も開催していただき、手術や外科の話だけでなく北海道の魅力についても色々教えていただきました。丁度雪まつりの時期でもあり、観光客で街は溢れかえっていましたが、おすすめされたお店を巡ったことも良い思い出となりました。

この度研修を引き受けてくださりご指導承りました恵佑会札幌病院の先生方、手術室の方々、臨床工学技士の方々、病棟の方々、秘書室の皆様にご礼申し上げます。また、研修を推薦いただきました大手前病院の玉川浩司先生、不在中の業務を担っていただきました外科の先生方に深謝いたします。

